

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

ファミリーケア なかの

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

管理者 渡部千代美、計画作成担当者 浅田直美

評価完了日

平成 19 年 10 月 3 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月26日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103995		
法人名	株式会社ファミリーケア		
事業所名	ファミリーケアなかの		
所在地	松山市中野町甲293番地2号 (電話) 089-960-8711		
管理者	渡部 千代美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年10月10日	評価確定日	平成19年10月26日

【情報提供票より】 (平成19年10月2日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年4月30日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	14人, 非常勤 3人, 常勤換算 15.1人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成19年10月2日現在)			
利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	7 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 80 歳	最低 66 歳	最高 96 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>地域の福祉施設の連絡会へ参加され、同業者と交流をされている。話し合いをされる中で同じような悩みを持っておられることを知り、今後も意見交換を行っていきたくて考えておられた。 ビーズ手芸をされる方が、作品を他の利用者にプレゼントされたり、利用者が牛乳パックでイスを作られ、事業所で活用しておられた。畑仕事や拭き掃除、毎日のゴミ出しをしてくださる方もおられる。 それぞれのかかりつけ医に受診される際には職員が同行されたり、医師との連絡ノートを作成して、事業所での利用者の健康状態と生活の様子を伝え、やり取りをされている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所便りを作成し、利用者の様子をご家族に伝えておられる。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員で自己評価を作成された。ケアの方向性の確認や利用者への対応についての振り返り、又、職員で「虐待」の意味について話し合うような機会にもされた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事や利用者の現状報告をされている。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理の報告については、利用料金の請求時にすべてのご家族に報告をする取り組みを始められた。又、管理者は、手書きのお手紙を同封し、利用者の様子を毎月伝えておられる。ユニットの入り口に、職員一人ひとりの写真を掲示されていた。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と職員で事業所の前の川そうじをされたり、秋祭りには獅子舞やみこしが来て、地域の人達の休憩所にもなっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念はあるが、大きすぎて具体性に欠ける。個人差があるので、その個人に合わせたサービスの提供をこころがけている。		全体の理念とは別に、それぞれのフロア毎に小さな(具体的な)理念をあげ、それを念頭においてサービスの提供をしていく。
			(外部評価) 事業所では、「利用者の夢を叶える」支援を目指し理念が作られている。「利用者一人ひとりの考え方を大切に」「その人を大切に」できるよう努めておられた。		事業所では、地域と事業所が気軽に行き来できるような関係作りを目指しておられる。さらに、地域密着型サービスを提供する事業所としての理念についても話し合っていられることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 入所時、本人様、家族様の生活に対する希望を聞き、出来る限り希望される生活が送れるよう努力している。		理念を誰が見ても理解出来る様に、具体的で分かり易い内容にする。
			(外部評価) 玄関に理念を掲示し、職員で共有されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 訪問してくれた人に良く見えるように玄関に理念を張り出しているが、気がつく人は少ない。スタッフも家族様に聞かれる事が少ないので、こちらからも説明もしていない。		玄関の見える場所に貼りだしているつもりでも、訪問者からは気づき難い場所に貼っているのかもしれない。字も小さめなので大きな字にし、分かりやすい場所に張り出した方が良い。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的な挨拶を行う事から始め、近所の方にもホームのゴミ置き場を利用して頂いている。玄関も網戸にしてオープンなイメージが伝わる様にしている。玄関先のお花や緑を絶やさない様にしている。		日常の挨拶を大切に、日常の会話の中から少しずつ交流を深めていけるよう努力している。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の三役の方にお会いして老人会の事や、ホームでの運営推進会議への参加をお願いしたが、あまり良い返事は頂けなかった。ホームの方からお願いして、川の清掃に参加させてもらった。 (外部評価) 利用者と職員で事業所の前の川そうじをされたり、秋祭りには獅子舞やみこしが来て、地域の人達の休憩所にもなっている。		地域性なのか、地域の一員と認めてもらうには時間がかかりそうである。秋祭りや川の清掃などの参加など、少しずつ地域の行事に参加させてもらい、理解して頂ける様努力していく。 さらに、事業所では、今後、幼稚園や小学校の子供達と交流するような機会作りや地域の運動会等にも参加したいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護教室や相談を受け入れられる様にしたいと検討し、地域の三役の方に伝えましたが、なかなか理解してもらえなかった。		今後も、地域に貢献できる方法は無いか検討して機会を作りたいと思う。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価を受けて、利用者の外出の機会が増えた。細かい所までは改善されていない。 (外部評価) 全職員で自己評価を作成された。ケアの方向性の確認や利用者への対応についての振り返り、又、職員で「虐待」の意味について話し合うような機会にもされた。		利用者の目線になってもう一度考え、直ぐに改善出来る所は取り組んでいく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている	(自己評価)		
			民生委員の方を始め、地域の代表の方に来て頂き、 ホームでの生活の様子や困り事の相談等が出来、サー ビスの向上につながっている。		毎回同じ方は来て頂けているが、ホームの近隣の方 の参加がないので、参加して頂けるように声を掛けて いきたい。利用者、家族の方の参加も来ていない事 が多いので、参加を促したい。
			(外部評価)		
			事業所の行事や利用者の現状報告をされている。		さらに、今後は事業所便り等を活用し、ご家族にも会 議に出席していただけるよう働きかけていく事を計画 されていた。又、出席しやすいような工夫を重ねてい かれることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会 議以外にも行き来する機会をつくり、市 町村とともにサービスの質の向上に取り 組んでいる	(自己評価)		
			久谷地区の連絡協議会が月に一度あり、その時に相 談などもしている。		市役所の方を通じて、久谷地区の民生委員の代表の 方と面識をもつ様になれた。
			(外部評価)		
			成年後見制度についての相談に乗っていただいている。 又、市の担当者より事業所便りを通じて地域の方 の理解を得てはどうか、という提案もいただき検討を されていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事 業や成年後見制度について学ぶ機会を持 ち、個々の必要性を関係者と話し合い、 必要な人にはそれらを活用できるよう支 援している	(自己評価)		
			研修会があれば参加している、。ホームで必要と思 われる人はいるが、活用出来るような支援は十分では ない。		市役所、地域包括支援センターの担当の方には相談 しているが、活用させたい本人が理解が出来ないので、 なかなか進まない。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内で虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めてい る	(自己評価)		
			利用者との関係が密になればなるほど慣れ合いにな り、第三者が聞いた時、言葉の暴力、とも取れること を言ってしまうスタッフもいる。お互いが注意し合う 様にしている。		利用者が外泊や外出から帰所された後は外出中の様 子を聞く。利用者に変化が見られた時には、再度家族 の方に外出中の様子や、家族の方の様子を聞いている。 スタッフの言動に問題があれば注意し合えるよう にしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
			(自己評価)		
		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、管理者、ユニットリーダーが同席し、十分な説明を行う。入所後も必要に応じ説明している。		看護師が同席し、医療的に援助の継続が必要な場合は医療側にもコンタクトをとり、入所後も継続した医療が受けれるように援助している。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者がスタッフと2人になれば、気兼ね無く話が出る場所は入浴中や居室に訪室した時なので、そういった場所で不満、苦情、意見などを聞き、内容によりスタッフ間で討議し運営に反映させえる。		日常生活の中で、信頼関係を作り、利用者から話し易い関係作りをこころがけていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	年4回の；なかの便り：を発行し、ホームでの暮らしぶりを紹介している。健康面に関しては、変化があればその都度連絡し相談している。金銭面は、出納帳を付けており、希望される家族様には郵送している。	
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			(外部評価)	金銭管理の報告については、利用料金の請求時にすべてのご家族に報告をする取り組みを始められた。又、管理者は、手書きのお手紙を同封し、利用者の様子を毎月伝えておられる。ユニットの入り口に、職員一人ひとりの写真を掲示されていた。	
			玄関に；ご意見箱：を設置しているが利用される方はいない。面会に来られた時など、ホームでの様子を話し、家族様の要望なども聞くようにしている。		
			(外部評価)		
			現在、ご家族はご本人の暮らし等について口頭で希望や要望を伝えられることが多い。		さらに、今後、事業所ではクリスマス会を開催し、ご家族同士が交流するような機会も作っていくことを計画されていた。さらにご家族が意見を出しやすいような工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月ミーティングを行い、そこで出た意見や要望は月に1度の管理者会議の際、管理者から運営者に伝えている。		ミーティング以外で出てきた問題は、管理者に相談したうえで、管理者から伝えている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 病院受診や外出行事の時など、安全確保の為に人員確保に努めている。		病院受診は、出来るだけ家族様の方をお願いしているが、縁の薄い方の受診や、家族の方の都合で急に行けなくなった時など、対応に困ることもある。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動や離職はほとんど無い。		同グループ内による助勤はなるべく避けて欲しい。
			(外部評価) 現在、離職等はなく、馴染みの職員が対応されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の推奨を行い、利用者の介護に当たり必要な知識を取得する為、勉強会を周知徹底している。		疾患に関する勉強会を開き知識を増やしたい。
			(外部評価) 家族介護教室へ参加され、リハビリ体操を採り入れられたり、ターミナルケアを実践される際には、訪問看護師を招き、利用者の対応について学ばれた。		現在は、職員が外部・内部研修に参加される機会は少な目である。職員個々のさらなるスキルアップから事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)		
			久谷地区のサービス事業所連絡会に月に1回参加している。職員は参加出来ていない。		職員も研修に参加して行きたい。
			(外部評価)		
			地域の福祉施設の連絡会へ参加され、同業者と交流をされている。話し合いをされる中で同じような悩みを持っておられることを知り、今後も意見交換を行っていきたくと考えておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			有給休暇を取らせて頂いている。希望休も取り入れてくれている。		独身者が「理由無く長期休暇を取りにくい」との意見があり、スタッフで話し合った。長期の休みは重ならない様取る事とした。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			管理者から職員の個々の仕事振りや、勤務状況は報告している。		職員が直接運営者に会う機会が少ない。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			ホームの生活に慣れる為担当者がつき、本人様の不安や希望が言いやすい環境作りに努めている。		家族の方に、本人様の生活歴を事前に聞く機会を設けられると良い。入居されてからは、面会時に来られた際、日常会話の中からお聞きしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者が中心となり家族様との連絡を取り、家族様の希望を聞くようにしている。入居前は、話し合いの機会を設けている。		担当のケアマネージャや相談員の方からも、情報を頂いている。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 医療系サービス(リハビリやマッサージ)を希望される場合は、介護保険外である事を説明し、家族の方にも了承を得てからサービスを受けるようにしている。		現在、リハビリやマッサージを受けている方がいる。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に家族の方には本人様の意向を連絡し、一度お試し期間を設け、本人が希望すれば家族の方に再度了承を得てからサービスを受けるようにしている。 (外部評価) 入居間もない方は、利用者同士でお話をするような機会を作られたり、お世話をよくして下さる利用者にも協力をお願いしながら、場の雰囲気に馴染んでいただけよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人一人の状態に応じ、出来ることはして頂く様にしている。お互いが何でも話せ、意見を言いやすい環境を作る為に日頃からコミュニケーションを深めている。 (外部評価) 職員は、利用者に料理や味付けについて相談をされたり教えていただいている。手芸を教わったり、食事の支度の際には、誰の食器か教えてもらうこともある。		馴れ合いになり、言葉がきつくなってしまう時もあり注意したい。常に尊敬の念を忘れないようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホームでの生活状況を伝える機会を設け、その時に不安や要望を聞いている。面会に来られた時等にもお話しを聴いている。		行事等にも参加して頂けるよう勧めてはいるが、なかなか参加していただけない。今後も参加を勧め、ホームでの生活状況を分っていただけるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人様との関係があまり深くない家族の方にも行事等の連絡をし、参加を促している。		なかの便りを送り、日常の生活の様子をお知らせしている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所前まで参拝していたお寺など、外出時に取り入れている。		ドライブを兼ねて、生まれ育った町に行く計画を立てたが、天候不良の為実行できなかった。今後も、入居される前の大切にしていた習慣が、継続出来る様に援助したい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 居室で過ごす時間の多い利用者には、ホールに出て来てもらえるよう声かけをしている。また、仲の良い利用者にも協力して頂いている。陰口などが見られた時には、スタッフが入り、状況説明をしている。		食事の準備などみんなでお手伝いをして頂き、交流する場をもうけている。
32		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後も在宅サービスが受けれる事を説明し、希望に沿ってサービスの提供を行う。また、ホームでの行事には声をかける。		退去を希望された段階で居宅と連絡を取り、本人様、家族様の意向を聞いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ケアプラン作成時には本人様の希望を聞き、取り入れるようにしている。		希望の伝えにくい方や不可能な方の場合は、家族の方に聞き取り入れるようにしているが、行動パターン、言動等から読み取りプランに取り入れていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の食べ物の好みや習慣等を把握しておられる。		利用者個々についてのアセスメントのさらなる充実から、ご本人の求めておられることを探る等、介護計画に反映していかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時にフェイスシートを作成し、細かく記録し分りやすくしている。又、以前の病院からのサマリーなどにも目を通し、経過の把握もしている。		生活歴、既往歴、バックグラウンドについて、特に重要な点においては、全スタッフへの申し送りを確実に行う。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎日バイタルチェックをし管理をしている。申し送りノート、医療ノートに必ず目を通す。		精神状態にも気を配り、声かけにも気を配る。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画を立てる際、家族の方にも希望を聞き、取り入れる。ターミナルケアを行った際、ホーム、家族様、連携病院の医師、看護師で、カンファレンスをもった。		ケアプランの見直し時のカンファレンスにも可能であれば、本人様、家族様に参加してもらおう。
			(外部評価)		
			日々の中からご本人の希望等を把握し、ご家族にも意見を伺い、職員で話し合い、計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
			利用者様の变化に応じ、対応をスタッフで協議し実践している。			記録の際にケアプランを確認するが、プランに入れたほうが良いと思われる事があれば、各担当者に分かるように付箋紙に記入し貼り付けておく。
			(外部評価)			
			定期的見直しと状態の変化時には随時見直しを行ってられる。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
			生活記録を時系列に記録している。各利用者のケアプランは一まとめにし、記録の際にチェックをしている。			記録に時間が掛かり、スタッフに負担が大きかった。検討の結果、記録内容が重複する物は一つにまとめ、ケアプランに上がっている内容を重視した。そうした結果、利用者に関わる時間が増えた。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
			交流を兼ねて同じ事業所のデイサービスの運動会に参加したが、事業所同士の場所が離れているので、なかなか訪問することが出来ない。			利用者も大変喜ばれたので、参加出来る行事があれば参加したい。
			(外部評価)			
			訪問マッサージを受けておられる方がおられる。地域の美容室を利用される際には送迎を行ってられる。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防署方に来て頂き消防避難訓練を行った。誕生会の時などボランティアの方に来て頂き、利用者の方も大変喜ばれた。		学校の実習やボランティアを受け入れると、生活の変化もありよいと思う。又、職員にも緊張感が生まれ、改めて仕事の内容などを見直す良い機会になると思う。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望があれば検討し取り入れるようにしている。		利用者の高齢化に伴い必要とする物が変化して来る。身体的レベルの変化に合わせ、適切な物を提供していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の際にアドバイスを頂いている。		本人様の意向は必要があればその都度相談している。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居前からの主治医を優先している。本人様、家族様の希望や理解があれば、ホームの協力医にて受診(往診)して頂いてる。		家族の方がターミナルケアを希望された場合は、ターミナルを理解し協力して頂ける、医師に変更を考える。
			(外部評価) それぞれのかかりつけ医に受診される際には職員が同行されたり、医師との連絡ノートを作成して、事業所での利用者の健康状態と生活の様子を伝え、やり取りをされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症が進行したと思われる時には、家族の方に相談し、専門医の受診を勧めている。		専門医を受診し、症状に合った薬を処方していただいた。調整が上手くいくようになった時点で、当ホームの協力医に処方して頂いた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームの看護師が協力医、その他の訪問医との連絡を密に取っている。		看護師の負担が大きいので、看護職員を増やしてほしい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 管理者、ユニットリーダーが病院へ出向いたり、家族様と連絡を取る。病院の相談員の方とコンタクトを取り、病状の把握をしている、。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) カンファレンスやミーティングを行い、統一した介護計画を作成。様態の変化、内服薬の変更等は連絡ノート、申し送りで情報を共有している。		本人様、家族様の強い希望があり、ターミナルケアに取り組んだ経験がある。理解のある医療と連携をもち、望まれた様な終末期を迎える事が出来た。
			(外部評価) 医療が必要となるまでは、事業所の生活が可能であることをご家族に伝えておられる。		さらに、重度化した時のことや終末期のあり方については、ご本人、ご家族も不安な面もあることを踏まえて、希望や思いを聞き取るような機会を作ってみられてはどうだろうか。全員で方針を共有できるような取り組みが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 高齢の利用者が増え、身体的な能力の低下もあり介護度が増えた。変化あれば、家族の方と相談し専門医の受診を勧めている。今の段階では行事のときに、出来るだけ人員を増やしているが、今以上に身体能力が低下した時には、外出、なども減ってしまうのではないかと。		出来るならば人員をふやして欲しい。終末期に対しては、本人様、家族様の希望を優先に考えたいが、協力して下さる専門医他、良い条件が揃わないと、難しい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去される方が、安心して次の生活に移れるよう、支援している。		自立支援を積極的に行う。退去を希望された時は、居宅に連絡を取り、今後の生活について話し合いを持っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	(自己評価)		
			<p>申し送りの時などは利用者に聞こえない場所で行っている。生活記録はイニシャルで記載している。利用者への声掛けの際、つい大きな声を出してしまい、他の利用者が気にしてしまう事がある。</p>		<p>利用者を傷つけない声の掛け方に注意する。</p>
			(外部評価)		
			<p>利用者の自立に向けた支援が行えるよう、職員で統一した声かけができるよう取り組まれている。時に、職員の利用者へ対する声かけについて「尊厳」という点から気になる場面が見受けられた。</p>		<p>さらに、この機会を利用者一人ひとりへの対応等について「尊重」という点から職員で振り返るような機会とされてほしい。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>耳の聞こえの悪い方には筆談をしてコミュニケーションを取っている。あまり自分から話をしない方には、こちらから積極的に話をしていく。</p>		<p>利用者の言動を傾聴し、安心して思いや希望を表現出来るように雰囲気を作る。</p>
			(外部評価)		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	(自己評価)		
			<p>利用者の希望があればスタッフで話し合いを持ち、希望に添えるように、検討している。ほとんどが、希望に添えていると思う。</p>		<p>入居されて規則正しい生活になった方もいる。本人様のペースに合わせて、無理強いはしていない。</p>
			(外部評価)		
			<p>現在は、利用者ご自身がご本人の意思で希望通り生活をされている。職員は無理強いすることなく、居室や共用空間で自由に過ごしていただけるよう支援してられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の希望によっては、ホームにて職員がカットや毛染め等をしている。美容室の希望があれば電話予約し、家族か職員が同行する。		家族様の面会がほとんど無い方で、衣類をあまり持っていない方は職員と一緒に洋服などを買いに行っている。季節に応じた服装をして頂いている。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜の皮むき、盛り付けを職員と一緒にしない、皆で同じ食事を取っている。		ほとんどの利用者がお手伝いをして下さるが、手伝いが出来ない人に対して影口が聞かれる事がある。その場合スタッフが間に入り繰り返しせつめいする。出来る事を見つけて対応したりしている。
			(外部評価) 事業所の畑で採れた野菜を使用されたり、利用者が調理に関わることで食事を楽しむことができるよう支援しておられる。又、食事のメニューには利用者の希望を採り入れておられる。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲酒を希望される方は、医師から止められているので出していない。その代わりに、本人様の好きな飲み物は、好きな時に飲んで頂いている。		おやつは一緒に買いに行ったり、手作りしている。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その人に合った誘導や介助を行っている。排泄パターンをつかみ、声掛けをしている。		オムツの着脱の難しい方は、必ず介助している為、清潔が保てるようになった。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			特別の理由無く何日も入浴を嫌がられる場合は、清潔保持の為説明を十分行い、せめて下着の交換を勧める。(無理強いしない)		時々見守るだけで良い方に、夜間入浴を勧めた事があるが、昼間の方が温かい、という理由で拒否された。
			(外部評価)		
			一番風呂を好まれる方や湯加減等も好みがあり、希望を把握し支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			夜間帯に十分睡眠が取れず、日中ウトウトされている方は居室で休んでいただいている。		居室で休むと寂しいと感じる方は、ホールのソファで休んでもらっている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個人の力に応じ、日常行う家事(食事の準備、清掃等)を行って頂いている。		畑仕事等にも参加して頂いている。
			(外部評価)		
			ビーズ手芸をされる方が、作品を他の利用者にプレゼントされたり、利用者が牛乳パックでアイスを作られ、事業所で活用しておられた。畑仕事や拭き掃除、毎日のゴミ出しをしてくださる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族様に了承を得た上で；おこずかい；として所持して頂いて、買い物に行った際に支払いをして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者のペースやレベルに合わせて外出をしている。		一日のうちわずかな時間でも良いので、楽しいと感じて生活して頂けるように援助していきたい。
			(外部評価)		
			事業所の周りの散歩コースを楽しまれたり、ドライブや買い物、外食にも出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			月に一度レクリエーションで外出の計画を立てている。家族の方にも連絡を取り、参加可能な方は、一緒に出掛ける。		より多くの家族様に参加して頂ける様に、日頃から関係作りをしていく必要がある。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望があればいつでも電話を使用して頂いている。		家族様とお電話は子機を使用して自室でお話して頂く。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			特に面会時間は決まっていない。		相談室など、宿泊の希望があれば提供していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 転倒の危険性のある方は、夜間帯のみ、家族様に了解を得てベット柵を使用している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関にかぎはしていない。日中網戸にしている。 (外部評価) 玄関は鍵をかけず、網戸にされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員として利用者の生活にどう関わり、どのような援助が望ましいのか常に考え、利用者とかかわっていく。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 誤飲の恐れのあるものは、預かる。		ホーム内に危険な物が無いか再度検討する。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人一人の行動を把握し見守りを行う。スタッフ同士が声を掛け合う。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救急時の対応マニュアルは出来ているが、定期的な訓練は行えていない。		救急の講習を受ける。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけひごより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	(自己評価) 地域の行事には参加し近隣の方と顔見知りになっておく。災害時には地元の消防団の方に協力をして頂く。 (外部評価) 消防署の指導を受けて、火災を想定した避難訓練を実施された。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 面会に来られた時など、日常生活の状況をお話している。転倒の危険性のある方、認知の症状など家族の方にお話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日の申し送りの時に気づいた点などは、その場で話し合いを持ち、対応している。		夜間帯体調に変化があれば、強力医に連絡をするか、救急車を呼び、救急対応をする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬の無い様スタッフ一人一人が注意し、ホームでマニュアルを作成している。他の病院に受診した際の受診結果や、新しく処方された薬は必ず医療用ノートに記載し、申し送り時は必ず送り、スタッフ全員がサインをする。処方箋を残し内容が分かりやすい様に保管している。		薬を分包する際も責任の所在をはっきりする為、分包した者がサインをする事になっているが、徹底出来ていない事があるので注意して行きたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給や運動を行い便秘にならない様に働きかけている。自分で排便のコントロールや排便の有無の把握が難しい人は、スタッフが内服薬の調節をし、確認している。		毎朝10時に全員で体操をし、水分補給をしている。15時のおやつの際にも水分を促し、バナナジュースなどをおやつとして出すこともある。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを促している。介助の必要な方もケアプランに取り入れ清潔を保つように援助している。		就寝前は義歯を外し、ポリドントに漬けて消毒している。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事のチェックを行い、体調によっては食事形態を変える等、摂取し易い様に工夫している。10時15時以外でも水分摂取量が少ない方へは、声かけなどしている。		自力摂取が難しい方は、スタッフが介助して食事や水分を取って頂いている。
			(外部評価) 夜間、水筒を枕もとに置かれ、排泄後に声をかけ摂取していただくような方もおられる。ご本人からの希望等も聞き取り、主食をおかゆにされることもある。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 床、手すりなどはハイターで拭いている。手拭タオルはペーパータオルを使用している。肝炎のある方は最後に入浴をして頂き、ハイターで消毒をしていた。通院や外出から帰ったときは、必ずうがい、手洗いをして頂いている。インフルエンザに対しては、予防接種をしている。(利用者、スタッフ)		ノロウイルスが流行した時には、面会者の方にも手洗いとマスクをしていただいた。予定していた行事も、念のため中止とした。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食後、その都度ハイター液やアルコールによる消毒を行い、全員が清潔保持に努めている。新鮮な食材を使用し、又、保管管理も出来ている。		地元のスーパーに注文し配達してもらっているが、生鮮食品など、利用者と共に買い物に行きたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 時候のよいときは玄関を網戸にし、花、人形、めだかなどを置き、家庭的な雰囲気を作り、来客者が入りやすいよう心掛けている。スロープを利用する事により、安心して出入りが出来ている。		花を植えていることにより、近所付き合いが円滑になっているが、もっと広く交流を深めて行きたい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 必要に応じカーテンを使用し時間帯によるテレビの音量調節を行っている。壁画や手づくりカレンダーにて季節感を出すようにしている。 (外部評価) 居間の窓から山々が眺められ、季節の移り変わりを楽しむことができる。利用者が作業をしやすいように台所付近には、低めのテーブルが設置されていた。		食事中はテレビを消して音楽を流し、ゆったりとした雰囲気を作りたい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 個室があり、食事の時の席も決まっており、居場所の確保が出来ている。ソファ、座敷の共有空間にて各人がくつろげるように工夫している		食事などが終わっても、しばらくの間気の会う人同士で話しをしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			タンスは備え付けの物を利用されているが、各自暮らしやすいよう、工夫されている。		自宅から馴染みの物を持って来て頂き、安心して生活出来るように援助している。
			(外部評価)		
			居室には、趣味のものやご自分のお若いころの写真、これまで使っておられたタンスや水屋、ご自分で作られた手芸の作品等も飾られていた。メダカを飼って、お世話している方もおられる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓の開閉を行い、快適な環境を維持出来るよう努めている。日中外気温が高く蒸し暑い時は、除湿(27)とし、利用者の様子を見て温度設定の調節している。		毎日の清掃時には必ず窓を開ける。ポータブルトイレを使用されている方は、起床後直ぐに片付け、バケツは洗浄し日光消毒をしている。本体も適宜ハイターで拭いたり、週に一度は日光消毒をしている。利用者によっては居室の温度設定を相談し決めている。
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			要所要所に手すりを設け安全に歩行できるよう工夫し、車椅子の片が安全に自力駆動で来るよう導線を考え、テーブル等の配置を考えている。車椅子の方も食事の時には、椅子に腰掛けて頂くよう声を掛けている。		車椅子の方が増えたのでホールの空間が狭くなり、食事の時など込み合うが、スタッフが声を掛け合い、安全に注意し誘導している。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			日常生活の中で各人得意な事を生かし、見守りの中で自信を持ってやって頂く。		利用者のレベルによって関わる時間が大きく違うので、均等に接して行きたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			洗濯干し場、畑へ通じる道にベンチ2ヶ設け、くつろぎの場やお喋りの場所として活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活の中のたわいも無い話からも、利用者の意向をくみとれるように努力している。意思表示の難しい方は、表情や行動の中から意向を汲み取るようにこころがけている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時15時、食事の際には各テーブルにスタッフが付くようにし、毎日曜日にはホールにて楽しめる事を提供できるように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事の時間はだいたい決まっているが、その他の時間に決まりはなく、利用者のペースで生活していただいている。居室にいる時間の多い方にはホールに出てきてもらえる様に、何かきっかけを作り声を掛けるが、無理強いはしていない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	趣味や得意な事、出来る事を行ってもらい、生活の中で自身が持てるように支援するよう、つとめている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩、買い物等の希望にそえられる様に努めてはいるが、人員体制(他の利用者や病院受診)の都合で希望に応じられないときもある。利用者が希望した日は行けなくても、その情報をスタッフ間で引継ぎ体制が整えば実効している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療との連携により、夜間帯でも対応出来るようにし、マニュアル、連絡網等によって速やかに対応が取れるようにしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人様の要望や、状態に応じ、必要であれば医療保険を利用したサービスをうけている。病状の変化等があれば協力医に相談し専門医の受診を進めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来所時に会話をもち希望を聞くようにしているが、家族に縁の無い方もいらっしゃるため、全ての方ではない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	近隣の方にお花等を頂く事があるが、ある特定の方である。地域の方との交流は、行事(お祭り、クリスマス、)の時に限られている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の清掃作業やお祭りに参加し、地域に顔見知りが少しずつだが増えてきてい る。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	愚痴や不満が出る時もあるが、それを聞いてもらえる相手(スタッフ)がいる。仕 事に対しては意欲的に取り組んでいる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	他のホームにいた方に、「利用者の顔が明るい」と言われた。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	希望や要望がある時は管理者とも相談し対応している。苦情などは聞かれていな い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者一人一人のレベルに合わせて、自立支援に向けて取り組んでいる。